施　設　の　目　的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者の方が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことが出来るよう支援する事を目的とします。

施　設　運　営　の　方　針

川内なずな園は、利用者の方の障害の状態に応じて、利用者の意思および人格を尊重し、常に利用者の立場に立って適切な技術・知識をもって施設サービスを提供し、その有する能力に応じた日常生活が継続できるよう入浴・排泄・食事等の支援、その他必要な日常生活に関わる支援を行うとともに、できる限り居宅に近い環境の中で利用者の方の地域移行を目指します。

各事業のご案内

生活介護事業

チャレンジ班

チャレンジ班は、自閉症など行動障害を持たれる方を中心に編成し、環境の構造化をはじめ個人の能力に合わせた個別・集団でのプログラムを設定し支援しています。

エンジョイ班

エンジョイ班は、①散歩やダンスによる体力増進や健康維持、②個別の日常生活動作支援、③レクリエーションなどの余暇支援を提供し、利用者様が何事も「楽しみ」ながら取り組めるよう支援しています。

なごみ班

なごみ班は、手工芸や園芸などの創作的活動を中心に提供しています。また、一人一人の日常生活動作や体力の維持増進にもしっかりと重点を置き、楽しく興味を持って取り組めるプログラムを利用者様と一緒に考え提供しています。

ゆ ず 班

ゆず班は、高齢の利用者様を中心に編成し、ゆったりとした環境の中で毎日の健康チェックから始まり、機能向上や維持に向けた活動やレクリエーションなど楽しく取り組んでいます。

生活介護★その他

※毎週火曜と木曜日の午前は全体運動として散歩をしています
※作業活動で得た収益は、必要経費を差し引きおやつ代などに使用させて頂くこともあります。

就労継続支援Ｂ型事業

ひっとべ班

ひっとべ班は、農園芸作業や施設内外就労等を通して利用者様に働く場を提供するとともに、生産的活動に関わる知識や能力の向上の為の支援を提供することを目的とし支援させて頂いております。主な作業内容としては、野菜作りをはじめ、お米や椎茸栽培も取り組んでいます。販売による収益は、必要経費を差し引き作業工賃として利用者様にお支払いします。

施設入所支援事業

施設入所支援事業は、施設に入所し主に夜間・土日において、食事・入浴・排泄等の日常生活に必要な支援を提供する事を目的とする事業です。現在、男性２２名・女性１８名の方がご利用されています。土・日曜日の日中に関しては生活支援はもちろんのこと、余暇支援としましてもご本人に合わせた趣味的活動や薩摩川内市レクリエーション協会のご協力による「レクリエーション交流会」にも定期的に取り組み、出来る限り楽しい生活が送れるよう支援しています。

短期入所・日中一時支援

短期入所事業は、夜間を含め短期間施設に入所し、食事・入浴・排泄等の日常生活に必要な支援を提供します（定員：男性３名・女性３名）。日中一時支援事業は主に日中において同様の支援を行います。

共同生活援助事業所 こくらの家

指定共同生活援助事業所『こくらの家』では、川内なずな園から約２ｋｍ離れた地域の住居において、５名の男性利用者が共同で生活しています。地域の中で自立した日常生活を営むために必要な食事や入浴の介護等を受けながら、共同の生活ができるよう支援することを目的としています。休日には公共交通機関を活用した外出や買物、おやつ作りなど楽しい活動を定期的に計画し充実した生活ができるよう支援しています。

特定相談支援事業所 なずな

指定特定相談・障害児相談支援事業所『なずな』では、福祉サービス等に関する基本相談やサービス等利用計画書の作成など幅広く利用者様のお役に立てるようサポートさせて頂きます。